

犀川緑地・玉川公園の平成22年度管理状況

施設所管課	土木部公園緑地課
指定管理者	エコ・チーム犀川 代表者 (株)庭芸社 代表取締役 笠井 順二
指定期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地内にある公園であり、様々な問い合わせや苦情が多数寄せられるが、丁寧かつ迅速に対応 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの意見・苦情の把握(延55件) 野外コンサートのアンケートの実施(180件) 利用者アンケートの実施(723件) 利用者ニーズの反映(害虫防除、樹木剪定、注意看板設置) <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 車椅子の操作方法や障害者との接し方について専門家を招き勉強会を実施した。
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 野外コンサート(犀川緑地:参加人数約400人) ガボットの展示会7月29日～8月20日(参加人数 150人) 養護学校によるブドウ狩り(犀川緑地:参加人数 206人) 花見栈敷(犀川緑地:利用人数約300人) <p>※その他、園児花植え(5回)などを実施</p> <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ、【新規】ブログ開設 <p>周辺地域、関係機関との連携・協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種養護学校等と連携し障害者を対象とした収穫祭を実施 周辺地域の保育、幼稚園と協同した花植えを実施
使用の許可に関する業務	該当なし
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃:1回/日の屋外トイレ、落葉時期の重点的な清掃実施</p> <p>保守点検:園路灯、遊具、カナルについて定期的に実施</p> <p>警備:3回/月の定期・夜間パトロール実施</p> <p>小規模修繕:柵、ベンチ、トイレ、看板、水路浚渫、園路等</p>
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの策定 <p>個人情報の管理状況:個人情報保護研修を実施</p>

(2) 施設の利用状況

①利用指標(設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標

指標	H21年度 (参考)	H22年度	前年度比	増減理由
自主事業実施数	13企画	11企画	—	熊出没による企画の一部中止と参加する幼稚園等の園児の減少
上記参加者数(人)	1,462	1,282	88%	

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
該当なし			

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	47,700	人件費	5,687
自主事業収入	249	光熱水費	3,621
		修繕費	1,337
		緑地等施設管理費	31,757
		その他	5,547
合計	47,949	合計	47,949
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果(平成22年4月～平成23年3月実施 有効回答数723件)

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	45.9%	51.4%	2.1%	0.6%
施設の維持管理	53.5%	44.2%	1.7%	0.6%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望 ※主なものを抜粋

年月	内容	対応
平成22年4月	害虫の薬剤駆除をこまめにしてほしい	時期的に早かったので、早期発見早期駆除に努める旨説明で理解
平成22年5月	公園内で禁止行為(バーベキュー等)を行う者への注意の要望	現地にて注意及び看板を設置
平成22年6月	外灯が木の陰となっている	支障となっている樹木を剪定
平成22年7月	越境枝の処理要望 きれいに管理されていますが、木に名札を付けてほしい	越境枝を剪定 アンケートでも要望が多かったため本年度は、樹木調査を実施。

②事故、故障等

年月	内容	対応
平成22年10月	公園内で熊による人身事故発生	当日、公園内の立ち入りを禁止 当日及び翌日警戒パトロールを実施 園内主要箇所には注意看板を設置

③その他報告事項など

- ・特別支援学校の生徒による「ブドウ狩り」や、障害者との接し方及び車椅子操作の勉強会などの活動に積極的に取り組んでいる。

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・構成員5社が責任分担し、公園の特色を活かした多彩な自主イベントの開催に積極的に取り組んでおり、公園の魅力を創造する工夫に努めている。 ・実施にあたっては、障害者や児童、学童を対象としたもの、親子で参加するものなど、その内容も社会貢献に寄与する事業が多く実施されている。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷を中心とした緑地管理が主体の公園であり、指定管理者5構成員が作業工程を調整し、経費の削減を念頭に、良好な施設維持に努めている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地が広大で分散しており、利用者も早朝から深夜まで多数に及ぶことから、公園全域の巡視や遊具点検等について、構成員5社が連携したきめの細かい安全管理が行える体制が構築されている。 ・熊の出没にあたり、警察、消防と協力し巡回の強化や注意看板の設置において、迅速な対応が見られた。
④その他、必要と認める事項（例：苦情処理、個人情報保護）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地内にある公園であり、多数の様々な問い合わせや苦情が寄せられるが、迅速かつ丁寧な対応が行われている。 ・違法駐車取締まりを強化し、公園利用者の駐車場を確保している。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地内の公園であり、多くの利用者が昼夜を問わず訪れており、苦情や要望も多様であるが、迅速に対応を行っている。 ・特別支援学校の生徒による「ブドウ狩り」や障害者との接し方及び車椅子操作の勉強会などの活動に積極的に取り組み、社会貢献に寄与している。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

- ・ 5者の構成員による共同管理であり、相互の連携をより密にして管理にあるとともに、各社の経験や技術力を活かした質的向上やコスト縮減をより一層期待する。